

使用説明書 (整形外科技工の 有資格専門職者向け) システム足関節

JA



NEURO SWING Carbon



NEURO CLASSIC Carbon

Download: www.fior-gentz.com

目次

1. 情報	4
2. 安全のためのご注意	4
2.1 安全情報の分類	4
2.2 システム足関節の安全な取扱いに関する説明	5
3. 使用	7
3.1 適応	7
3.2 治療適応	7
3.3 禁忌	7
3.4 資格	7
3.5 用途	7
3.6 製品群	7
3.7 他のシステム関節との可能な組み合わせ	8
4. 関節機能	8
5. 納品範囲	8
6. 負荷	8
7. システム関節組み立て用ツール	9
8. 組み立て手順	9
8.1 システムあぶみの取り付け	9
8.2 システム関節の運動自由度のチェック	10
8.3 NEURO SWING Carbonのばねユニットの取り付け	10
8.4 ねじの固定	10
9. 装具の調節オプション	11
9.1 NEURO SWING Carbonのばねユニットの調節	11
9.1.1 NEURO SWING Carbonの調節可能なアライメント	11
9.1.2 NEURO SWING Carbonのばね力を変える	11
9.2 関節角度の読み取り	12
10. システムサイドバー/システムアンカーへの接続	12
11. NEURO SWING Carbonシステム足関節を備えた装具のコンバート	12
12. メンテナンス	12
12.1 装具サービスパスのメンテナンス文書	13
12.2 スライドワッシャの交換	14
12.3 汚れの除去	14
13. 使用期間	14
14. 保管	15

15. 交換部品	15
15.1 NEURO SWING Carbon分解図	15
15.2 すべてのシステム足関節の交換部品	16
15.3 NEURO SWING Carbonシステム足関節の交換部品	16
15.4 NEURO SWING Carbonのばねユニット	16
15.5 NEURO CLASSIC Carbonシステム足関節の交換部品	17
16. 廃棄	17
17. 記号とマーク	18
18. CE適合	18
19. 法的情報	18
20. 治療文書に関する情報	19
21. 装具の引き渡し	20

1. 情報

この使用説明書マニュアルは、整形外科技術の有資格専門職者の方を対象としており、整形外科技術の有資格専門職者にとって明らかな危険性については記載されていません。最大限の安全性を達成できるよう、製品の使用・メンテナンスについて患者やケアチームに指導を行ってください。



説明を単純化するため、基本的な組み立て手順はすべて **NEURO SWING Carbon**システム足関節(図1)を例として図に示されています。この説明は、記載されているすべてのシステム関節に適用されます。



図1

2. 安全のためのご注意

2.1 安全情報の分類

危険	危険な状況となる可能性についての情報です。回避されない場合、死亡や不可逆的な怪我につながります。
警告	危険な状況となる可能性についての情報です。回避されない場合、治療が必要になる治癒可能な怪我につながります。
注意	危険な状況となる可能性についての情報です。回避されない場合、治療が不要な程度の軽い怪我につながります。
通告	起こり得る状況についての重要な情報です。回避されない場合、製品の破損につながる可能性があります。

規制(EU) 2017/745に従い、この製品に関連する重大な事象が起こった場合は必ず、製造メーカーおよび加盟国(整形外科技術の有資格専門職者および/または患者が所在する国)の管轄当局に報告しなければなりません。

2.2 システム足関節の安全な取扱いに関する説明

⚠ 危険

運転能力が制限されることによる交通事故の可能性

装具を装着して自動車を運転する際は、安全とセキュリティに関するあらゆる事項について情報を収集するよう、患者に指導してください。患者は自動車運転を安全に行うことが可能でなければなりません。

⚠ 警告

不適切な取扱いによる転倒のリスク

システム関節の正しい使用と、特に過剰な機械的応力（例えばスポーツや過剰な活動、体重増加など）に関する潜在的な危険性について、患者に説明してください。

⚠ 警告

不適切な処理による転倒のリスク

システム関節の加工は、この使用説明書の記載に従って行ってください。逸脱した加工や改変をシステム関節に加えるには、メーカーの書面による同意が必要です。

⚠ 警告

ベアリングナットのゆるみによる転倒のリスク

指定されたトルクと所定の接着剤を使って、関節ケースのねじを固定し、手順中にスライドワッシャが損傷しないように注意してください。

⚠ 警告

不適切に選択されたシステムによる転倒のリスク

関節の機能不全を防ぐため、システム関節およびシステム部品に過剰な負荷がかかっていないこと、また、患者の要件およびニーズに合わせて機能が調節されていることを確認してください。

⚠ 警告

恒久的な高負荷による転倒のリスク

患者データが変化した場合（例えば体重増加、成長、活動量増加など）、システム関節の予測荷重を計算し直し、治療計画を新たに行い、必要に応じて新しい装具を製作してください。

⚠ 警告

不適切な靴や誤った靴ピッチによる転倒のリスク

関節の機能不全を防ぐため、装具調整に用いた靴を履くよう患者を指導してください。

⚠ 警告

ばねユニットの過剰な再調整による転倒のリスク

ばねユニットの調整は、この使用説明書の記載に従って行ってください。10°以上の再調整はしないでください。システムあぶみと関節ケースにあるレーザー刻印マークを使用して、再調整をチェックしてください。

⚠ 警告

関節の機械的旋回点の位置が不正確であることによる解剖学的関節の損傷

解剖学的関節に恒久的に不適切な荷重がかからないようにするため、関節の機械的旋回点を適正に判定してください。FIOR & GENTZウェブサイトのオンラインチュートリアルを参照するか、またはテクニカルサポートまでご連絡ください。

⚠ 警告

必要な運動自由度が提供されないことによる治療目標の阻害

関節機能の制限を避けるため、システム関節が自由に動くことを確認してください。この使用説明書の記載に従って適切なスライドワッシャを使用してください。

⚠ 警告

ばねユニットの不正確な調整による治療目標の阻害

ばねユニット内のねじをシステムあぶみまでねじ込みます。ばねユニットには予荷重がかからないようにします。ストッパーに達するのが早すぎたり遅すぎたりすると、動きの範囲が制限されたり、装具により患者が十分に支えられなかったりするため、歩行を悪化させます。装具の機能をフル活用するため、ばねユニットは適切に選択し正しく調節する必要があります。

通告

不適切な処理による関節機能の制限

処理を誤ると、関節機能に支障が生じることがあります。特に以下の点に注意してください：

- 製作技法に従って、システムサイドバー/システムアンカーを、関節ケースに適正に接続してください。
- 関節部品へのグリース適用は少しだけしてください。
- メンテナンススケジュールを遵守してください。

通告

不適切な汚れ除去による関節機能の制限

装具とシステム関節から適切に汚れを除去する方法を患者に指導してください。

通告

メンテナンス不足による関節機能の制限

関節の機能不全を防ぐため、指定されているメンテナンススケジュールを遵守してください。また、患者にメンテナンススケジュールを守るよう伝えてください。次回のメンテナンス予定日を患者の装具サービスパスに記入してください。

3. 使用

3.1 適応

FIOR & GENTZシステム足関節は、下肢の装具フィッティング専用です。このシステム関節はAFOまたはKAFO製作専用です。どのシステム関節も装具の機能に影響を与え、すなわち脚の機能にも影響を与えます。このシステム関節は、フィッティング1回に限り用いることができ、再使用はできません。

3.2 治療適応

下肢装具の治療適応は、病的歩行をもたらす不安定状態です。これは例えば、麻痺、構造的変形/機能不全、外傷や手術の結果として起こる可能性があります。

筋肉強度や活動レベルなどの患者の状態に応じて、装具治療が決定されます。患者による装具の安全な取り扱いに関する評価を実施する必要があります。

すべてのシステム足関節製品は、更に、下肢部分切断の患者の補綴治療に使用することもできます。この目的では、整形外科技術の有資格専門職者がその患者のために製作した装具(カスタムメイド製品)が、義足と組み合わせられます。詳しくは「**Guide to Partial Foot Amputations**」(図2のQRコード)を参照してください。



図2

3.3 禁忌

このシステム関節は、3.2項に記述されていない治療(上肢の治療や、例えば下肢切断後など足以外の部分に影響する義足または整形外科補綴物を用いた治療)には適していません。

3.4 資格

システム関節の取扱いは、整形外科技術の有資格専門職者に限られます。

3.5 用途

FIOR & GENTZシステム関節はいずれも、立つ、歩くなどの日常的な活動のために開発されたものです。過剰な衝撃応力を受ける活動(例えば走り幅跳び、クライミング、パラシューティングなど)は対象外です。Carbonシステム足関節は耐水性であり、濡れた場所で使用するのに適しています。耐水性炭素繊維強化の関節ケースと、耐海水性ステンレス鋼ねじを備えています。**NEURO SWING Carbon**はばねユニットを備えており、これは耐水性・防塵性のばねユニットスリーブに收容されています。システム関節のばねユニットは水深3メートルまで耐える耐水性です。本システム関節は、最高温度+60°Cで使用することができます。

3.6 製品群

この使用説明書には、以下のシステム足関節についての説明が記載されています：



NEURO SWING Carbon



NEURO CLASSIC Carbon

3.7 他のシステム関節との可能な組み合わせ

Carbonシステム足関節は、FIOR & GENTZの耐水性装具製品の中のCarbonシステム膝関節と組み合わせることで取り付けることができます。FIOR & GENTZ製品群の他のシステム膝関節との組み合わせも可能です。**NEURO CLASSIC Carbon**を、**NEURO SWING Carbon**のサポート関節として使用することができます。

当社ではご使用の装具のためのシステム部品選択の際には、Orthosis Configuratorの結果からの推奨内容に従うことをお勧めしています。

4. 関節機能

この**NEURO SWING Carbon**システム足関節は、使用するばねユニットにより、以下の機能が得られます：

システム部品	機能
ばねユニット	背側(後側ばねユニット)： - 底屈の最大運動範囲の決定 - 一体となった背屈支援 - 荷重応答期の、制御された足下ろし
	腹側(前側ばねユニット)： - 背屈の最大運動範囲の決定 - 踵挙上中のエネルギー利得増大により、離地を支援
	背側と腹側： - 患者の身体を動的に屈曲姿勢から直立姿勢にし、歩行時・直立時に身体のバランスをとることによって安定性を改善する

5. 納品範囲

品目	数量
システム足関節(図なし)	1
2液タイプ接着剤・プライマーセット(図3)	1
装具関節用グリース、3g(図なし)	1
組み立て/ラミネートダミー(図4)	1

対応するばねユニットとシステムあぶみは、別途ご注文いただく必要があります。



図3



図4

6. 負荷

システム関節の実際の負荷は、関連する患者データに基づきます。負荷および適切なシステム部品は、Orthosis Configuratorを用いて決定することができます。装具の製作時にはOrthosis Configuratorにより決定されたシステム部品を使用し、推奨される製作技法に従うようお勧めします。製作技法の情報は、FIOR & GENTZウェブサイトの「Online Tutorials(オンラインチュートリアル)」のセクションをご覧ください。

7. システム関節組み立て用ツール

ツール	システム幅			
	12mm	14mm	16mm	20mm
T15六角星型ねじ頭ドライバー/ビット	x	-	-	-
T20六角星型ねじ頭ドライバー/ビット	-	x	x	x
トルクドライバー (1~6Nm)	x	x	x	x
六角ドライバー (球形ヘッド) (4 x 100mm)	x	-	-	-
六角ドライバー (球形ヘッド) (5 x 100mm)	-	x	x	x
スライドワッシャセンターリングピン	x	x	x	x

8. 組み立て手順

システム関節は完全組み立て状態で納品されます。すべての機能を事前にチェックします。装具への取り付けとメンテナンスの際には、システム関節を分解する必要があります。最適な機能を実現するために、以下の組み立て手順に従ってください。ねじは8.4項に指定されているトルクで締めてください。

組み立てについての詳細は、FIOR & GENTZウェブサイトのオンラインチュートリアル「**Joint Assembly NEURO CLASSIC Carbon, NEURO SWING Carbon**」(図5のQRコード)を参照してください。



図5

以下の組み立て手順は、**NEURO SWING Carbon**システム足関節を例として図に示されています。



図6



システム部品にグリースを適用する際は、必ずFIOR & GENTZ装具関節用グリースを使用してください。

8.1 システムあぶみの取り付け

- 1 組み立ての前に、ベアリングナットのスレッドを、LOCTITE® 7063 Super Cleanできれいにします。スレッドを10分間空気乾燥させます。
- 2 ベアリングナットのスライド表面と、もしあればシステムあぶみとばねユニットとの間のシステムあぶみの接触表面に、装具関節用グリースを塗布します。
- 3 2つのスライドワッシャの両面に、装具関節用グリースを少しだけ塗布します。
- 4 スライドワッシャをシステムあぶみの両側に配置します(図6)。
- 5 システムあぶみを下から関節ケースの中へスライドさせます(図7)。スライドワッシャが正しい位置に留まるよう注意してください。このためには、スライドワッシャセンターリングピンを使用します。



図7



組み立ての際にスライドワッシャが損傷しないように注意してください。スライドワッシャの粒子が挟まると、システム関節に横方向の遊びが生じることがあります。

- ベアリングナットを関節ケース内に配置します。ベアリングナットは開口部内に完全に挿入されていなければなりません(図8)。
- 関節ケースの前側にカバープレートを配置します。
- 皿小ねじをねじ込みます(S1、図9)。

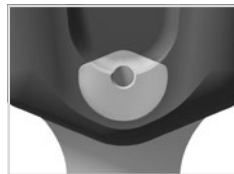


図8

8.2 システム関節の運動自由度のチェック

関節ケースのねじを、適切なトルク(8.4項を参照)で締めます。システム関節が自由に動くかどうかを確認してください。横方向に遊びがある場合は、もう一段階厚いスライドワッシャを取り付けてください。自由に動かない場合(ひっかかる場合)は、もう一段階薄いスライドワッシャを取り付けてください。

8.3 NEURO SWING Carbonのばねユニットの取り付け

NEURO CLASSIC Carbonシステム足関節の場合は、この手順をスキップして、8.4項の組み立てに進んでください。

- 装具の必要なアライメントが達成されるまで、背屈のばねユニットを前側ばねダクトにねじ込みます(図10)。
- 底屈のばねユニットを、システムあぶみに接触するまで、後側ばねダクトにねじ込みます。ばねユニットに予荷重がかからないようにします。



図9



ばねユニットに圧力がかかった状態で分解しないでください。ばねユニットスリーブを明けたときにけがをする危険性があります。NEURO SWING Carbonシステム足関節用のばねユニットとOリングには、グリースを塗布してはいけません。

8.4 ねじの固定

装具が製作され、試装着が終わったら、ねじを固定してから、患者に手渡します。

- システム関節の自由運動をチェックした後に関節ケースのねじ(図9)をゆるめて関節ケースから外します。
- LOCTITE® 243(中強度)を1滴、ねじのスレッドに塗布します。
- 関節ケースのねじ(図9)を、システム幅に対応するトルクで締めます。
- 接着剤を硬化させます(約24時間後に最終的強度)。



図10

関節ケースのねじ	システム幅			
	12mm	14mm	16mm	20mm
S1 (ねじ1, 軸ねじ)	3Nm	4Nm	4Nm	4Nm



関節ケースのねじは、納品時、必要なトルクでは固定されていません。システム関節のカバーディスクにも、トルクについての情報が記載されています。

9. 装具の調節オプション

装具は、調節可能なシステム足関節を用いて、患者のニーズに個別に合わせることができます(図11)。記載されている調節は互いに影響することはありません。それぞれ独立に行うことができます。

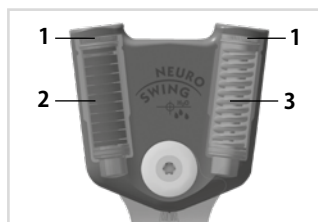


図11



システム足関節を取り付ける際は、背屈ストッパーを適正に調節するよう注意してください。これは、装具全体のアライメントに影響します。これについての詳細は、FIOR & GENTZウェブサイトのオンラインチュートリアル「AFO Alignment Guidelines」(図12のQRコード)を参照してください。



図12

9.1 NEURO SWING Carbonのばねユニットの調節

皿ばね(2)およびコイルばね(3)を備えたばねユニットがあります。装具のアライメントは、ばねユニットのねじにより調節できます(1, 図11)。ばね力は、さまざまな強度のばねユニットで変えることができます。

9.1.1 NEURO SWING Carbonの調節可能なアライメント

下腿と足の間の角度を調節するには、一度に1つだけばねユニットのねじを外します(図13)。次に、システムあぶみに触れるまで、他のばねユニットをねじ込みます。ばねユニットに予荷重をかけないでください。予荷重がかかると、動かせる最大範囲が制限されます。Oリングをばねユニットの外側スレッドに取り付け、これによりばねユニットの位置が変わらないようにします。

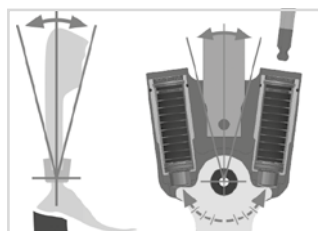


図13

9.1.2 NEURO SWING Carbonのばね力を変える

ばねユニットを交換することで、ばねの力を変えることができます。必要なばね力に対応するばねユニットをばねダクトに挿入します。ノーマルから最強までのばね力を備えた、5種類のばねユニットがあります(図14)。ばねユニットは、それぞれの最大運動範囲を決定することに留意してください。

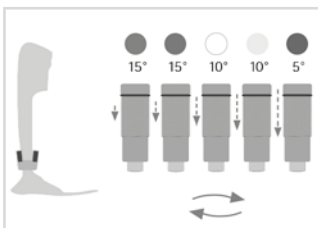


図14

9.2 関節角度の読み取り

関節ケースとシステムあぶみにはマーク(図15)が付いており、これは、システム部品の互いに対する角度を示します。これにより個人個人の正しい姿勢(装具の基本アライメント)をチェックし、関節角度を記録し、後で生じる偏差を比較することができます。個人個人の正しい姿勢における関節角度は、角度マークの範囲外になってはいけません。

各システム幅の角度マーク間の距離が、以下の表に記載されています。

角度マーク				
システム幅	12mm	14mm	16mm	20mm
角度	5°	2°	2°	2°

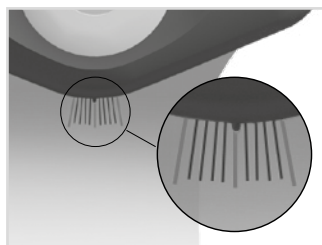


図15

10. システムサイドバー/システムアンカーへの接続

システムサイドバー/システムアンカーは、推奨する製作技法に従ってシステムに接着する必要があります(図16)。装具部品の焼き戻しを行ってから、接着されます。接着剤セットを使用する前に、有効期限が切れていないことを確認してください。接着剤セットは涼しい場所に保管してください。



図16



システムサイドバー/システムアンカーをシステム関節に接続した後は、装具の焼き戻しを行うてはならないことに注意してください。温度が高すぎると接着剤の接着特性が変化します。

詳しくは、使用説明書(整形外科技工の有資格専門職者向け) **カーボンシステム関節用のシステムサイドバーとシステムアンカー**(図17のQRコード参照)に記載されています。製作技法の情報は、FIOR & GENTZ ウェブサイトの「Online Tutorials(オンラインチュートリアル)」のセクションをご覧ください。



図17

11. NEURO SWING Carbonシステム足関節を備えた装具のコンバート

NEURO SWING Carbonシステム足関節を備えた装具は、システム関節を交換することで、NEURO CLASSIC Carbonシステム足関節を備えた装具にコンバートすることができます。

12. メンテナンス

システム関節は、定期的に摩耗と機能をチェックしてください。以下の発生可能な問題の表にあげられている関節部品は特に入念にチェックし、必要に応じて適切な措置をとってください。また、メンテナンスを行った後は必ず、適正に機能することを確認してください。問題や異常なノイズなしでシステム関節を動かせるようになっていなければなりません。横方向および軸周りに遊びがないようにしてください。

関節部品	発生し得る問題	対処策	推奨される点検と交換(必要に応じて*)	いちばん最近の交換
ばねユニット固定のためのOリング	摩耗	Oリングを交換	6か月ごと	18か月ごと
ばねユニット	摩耗	ばねユニットを交換	6か月ごと	18か月ごと
	ばねユニットのノイズ	ばねユニットを交換	6か月ごと	18か月ごと
スライドワッシャ	摩耗	スライドワッシャを交換(12.2項を参照)	6か月ごと	18か月ごと
スライドブッシング	摩耗	スライドブッシングを交換	6か月ごと	18か月ごと
皿小ねじ、六角星型ねじ頭ソケット付き	摩耗	皿小ねじを交換	6か月ごと	36か月ごと
ベアリングナット	摩耗	ベアリングナットを交換	6か月ごと	36か月ごと
システムあぶみ	磨耗または破損	システムあぶみを交換	6か月ごと	48か月ごと
接着接続(システムサイドバー/システムアンカーとシステム関節)	破損	新しいCarbonシステム部品を接着	6か月ごと	必要に応じて

* カスタムメイド製品の代理店が、患者の使用状況に関して行う評価による

メンテナンスのたびに毎回、ベアリングナットのスレッドをLOCTITE® 7063 Super Cleanできれいにします。スレッドを10分間空気乾燥させます。

メンテナンスのたびに毎回、関節ケースのねじを、システム幅に対応するトルクで締め、LOCTITE® 243(中強度)で固定します(8.4項を参照)。最初に、接着剤の残滓をすべて除去してください。



システム関節を分解する際は、ねじを外す際にベアリングナットの裏側を指で固定するようにしてください。これにより、ベアリングナットが開口部から滑り落ちて関節ケースの材料を破損するのを防ぎます。



図18

システム関節の個々のメンテナンスプランは、FIOR & GENTZウェブサイトのダウンロードエリア(図18のQRコード)を参照してください。

12.1 装具サービスパスのメンテナンス文書

患者は装具が手渡される際に、装具サービスパス(図19)を整形外科技術の有資格専門職者から受け取ります。装具はその機能性を維持し患者の安全性を確保するために、メンテナンスプランの仕様に従って定期的にチェックする必要があります。メンテナンス日程は装具サービスパスに記載され、確認されています。



図19

12.2 スライドワッシャの交換

スライドワッシャはさまざまな厚さが用意されています(例えばGS1911-040は厚さ0.40mm)。それぞれ、異なるマークを有しています(図20)。取り付け済みのスライドワッシャの部品番号は、この使用説明書の最後のページに記載されています。スライドワッシャセンターリングピンを使用してスライドワッシャを配置してください。

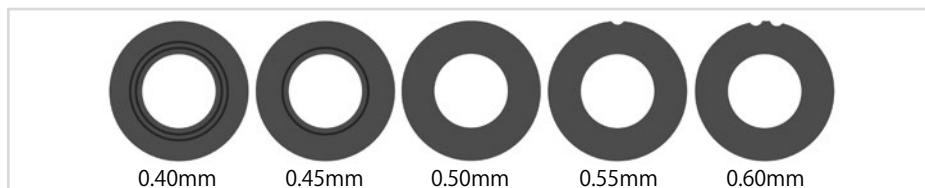


図20

12.3 汚れの除去

このシステム足関節は、濡れた場所で使用するのに適しています。ただし、必要に応じて、また定期メンテナンスの際に、汚れを除去する必要があります。クリーニングを行うには、システム関節を分解し(ただしばねユニットは分解しない)、汚れたシステム部品とばねユニットスリーブ(あれば)を乾いた布で拭いてください。

なるべく長くお使いいただくために、特に塩水や塩素系消毒液に触れたり、砂が混じる状態で使用した後は、装具をきれいな水道水ですすぐことをお勧めします。

13. 使用期間

安全な使用と完全な機能性、そしてシステム関節を期間の制限なくご利用いただけることを保証するためには、以下の条件を遵守してください：

- 指定されたメンテナンススケジュールを厳守し、各メンテナンスを文書化します(12項を参照)。
- 指定のメンテナンス条件を遵守します(12項を参照)。
- 必要に応じて摩耗部品を点検し、指定の使用期間を超過することなく交換します(12項を参照)。
- メンテナンス時にシステム関節の調整を点検し、必要に応じて修正します(12項を参照)。
- メンテナンス時にシステム関節の機能性を点検します(12項を参照)。
- 患者データの変化(体重増加、成長、活動量増加など)に応じてカスタムメイド製品の計画中に決定された最大負荷を超過してはなりません。決定されているシステム関節の最大負荷を超過した場合、システム関節の使用を続けてはいけません。カスタムメイド製品計画中に患者データの予想される変化が考慮されていなければなりません。
- 耐水性システム関節は、塩水や塩素系消毒液に触れたり、砂の混じる状態で使用すると、使用期間に影響することがあります。塩水や塩素系消毒液に触れたり、砂が混じる状態で使用した後は、システム関節をきれいな水道水ですすいでください。患者にそのように指導してください。
- システム関節の使用期間はカスタムメイド製品(装具)使用期間とともに終了します。
- 別のカスタムメイド製品にシステム関節を再使用することは認められていません(19項を参照)。

14. 保管

システム関節は、カスタムメイド製品が製作されるまで、元のパッケージ内で保管することをお勧めします。

15. 交換部品

15.1 NEURO SWING Carbon分解図

NEURO SWING Carbonシステム足関節の分解図は、NEURO CLASSIC Carbonシステム足関節の図例として使用することができます。

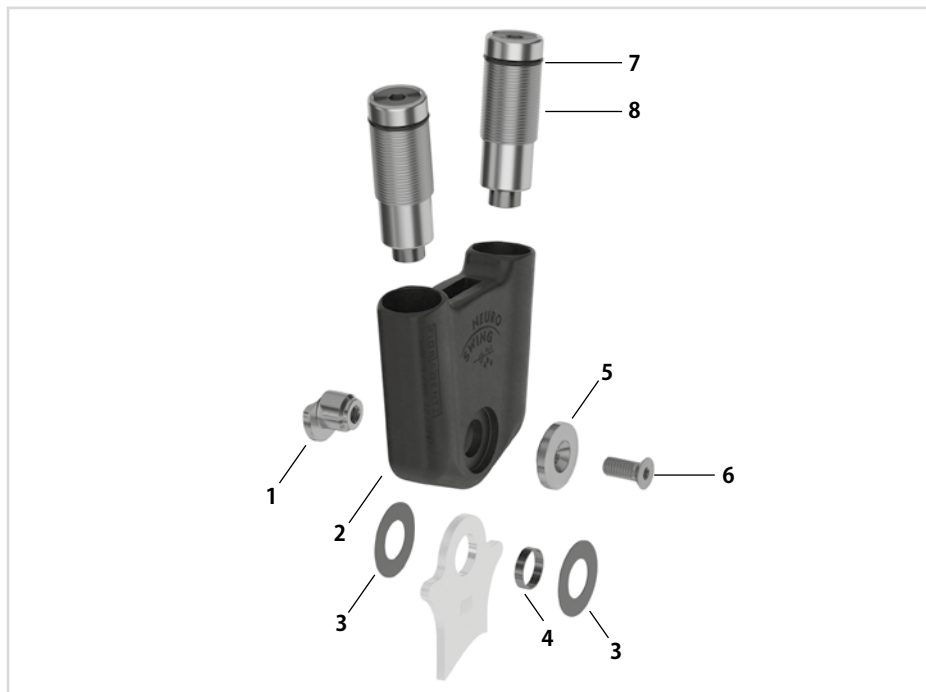


図21

システム足関節のシステムあぶみはすべて、一体型スライドブッシング付きで納品されます。

15.2 すべてのシステム足関節の交換部品

項目	システム幅に対する部品番号				品目
	12mm	14mm	16mm	20mm	
1	SF0591-C/1	SF0592-C/1	SF0593-C/1	SF0595-C/1	ベアリングナット
3	GS1409-*	GS1911-*	GS2413-*	GS2815-*	スライドワッシャ*
4	BR1009-L020	BR1211-L025	BR1312-L030	BR1514-L030	スライドブッシング
5	SF0591-C/2	SF0592-C/2	SF0593-C/2	SF0595-C/2	カバーディスク
6	SC1404-L10	SC1405-L11	SC1406-L14	SC1406-L14	皿小ねじ、六角星型ねじ頭 ソケット付き

* スライドワッシャ

システム幅に対する部品番号				
12mm	14mm	16mm	20mm	
Ø = 14mm	Ø = 19mm	Ø = 24mm	Ø = 28mm	
GS1409-040	GS1911-040	GS2413-040	GS2815-040	
GS1409-045	GS1911-045	GS2413-045	GS2815-045	
GS1409-050	GS1911-050	GS2413-050	GS2815-050	
GS1409-055	GS1911-055	GS2413-055	GS2815-055	
GS1409-060	GS1911-060	GS2413-060	GS2815-060	

15.3 NEURO SWING Carbonシステム足関節の交換部品

項目	システム幅に対する部品番号				品目
	12mm	14mm	16mm	20mm	
2	SF0501-C	SF0502-C	SF0503-C	SF0505-C	関節ケース

15.4 NEURO SWING Carbonのばねユニット

項目	システム幅に対する部品番号				品目
	12mm	14mm	16mm	20mm	
7	VE3771-085/13	VE3771-100/12	VE3771-12/12	VE3771-15/13	ばねユニット固定のための Oリング
8	SF5801-C/15/03	SF5802-C/15/05	SF5803-C/15/07	SF5805-C/15/18	ばねユニット、青色、ノーマル、 最大運動範囲 15°
8	SF5801-C/15/06	SF5802-C/15/11	SF5803-C/15/15	SF5805-C/15/25	ばねユニット、緑色、中程 度、最大運動範囲 15°
8	SF5801-C/10/12	SF5802-C/09/16	SF5803-C/10/21	SF5805-C/10/40	ばねユニット、白色、強力、 最大運動範囲 10°
8	SF5801-C/10/19	SF5802-C/10/29	SF5803-C/10/31	SF5805-C/10/60	ばねユニット、黄色、より強 力、最大運動範囲10°
8	SF5801-C/05/33	SF5802-C/05/53	SF5803-C/05/63	SF5805-C/05/99	ばねユニット、赤色、非常 に強力、最大運動範囲5°

15.5 NEURO CLASSIC Carbonシステム足関節の交換部品

NEURO SWING Carbonシステム足関節の分解図に示されている項目番号がガイドとして示されています。NEURO CLASSIC Carbonシステム足関節の交換部品は、図とは異なります。

システム幅に対する部品番号		
項目	16mm	品目
2	SF0103-C	関節ケース

16. 廃棄

システム関節とその個々の部品の廃棄処分は適切に行ってください。この製品は他の廃棄物と一緒に捨てることはできません(図22)。リサイクル可能材料の適切なリサイクルについては、国内法や地域の規制に従ってください。



適切に廃棄するためには、システム関節を装具から取り外す必要があります。

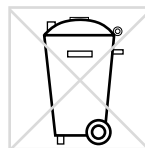


図22

17. 記号とマーク



医療機器の規制 (EU) 2017/745によるCEラベル



医療機器



部品番号



製造者



バッチコード



使用説明書に従ってください



患者1人用 – 複数回使用



デバイス固有識別子 – 製品識別番号

18. CE適合

当社の医療装置及びその付属品は、規制 (EU) 2017/745の要件を満たしていることを宣言します。よって、FIOR & GENTZ製品にCEマークが付いています。

19. 法的情報

本製品を購入することにより、当社の業務取引・販売・納入・支払に関する一般規約 (General Terms and Conditions of Business Transactions, Sales, Delivery and Payment) が適用されます。例えば、本製品は数回取り付けが行われると保証が無効になります。本製品は、FIOR & GENTZ Orthosis Configuratorにより得られた結果を順守し推奨される構成以外の部品や材料と組み合わせで使用することは想定されていないことにご注意ください。他のメーカーの製品と組み合わせることは許可されていません。

この使用説明書に記載されている情報は、印刷時点において有効です。記載されている製品情報はガイドラインとして使用するためのものです。技術的な変更が行われることがあります。

この使用説明書の全体またはその一部の、特に配布、複製、翻訳に関するすべての著作権は、事前にFIOR & GENTZ Gesellschaft für Entwicklung und Vertrieb von orthopädiotechnischen Systemen mbHの承認を受ける必要があります。印刷、コピー、その他の電子的複製は、たとえ部分的であっても、書面により事前にFIOR & GENTZ Gesellschaft für Entwicklung und Vertrieb von orthopädiotechnischen Systemen mbHの承認を受ける必要があります。

.....

20. 治療文書に関する情報

この使用説明書を治療文書に追加してください!

患者データ

氏名	
住所	
郵便番号、市	
自宅電話番号	
勤務先電話番号	
保険	
保険証番号	
主治医	
診断	

21. 装具の引き渡し

整形外科技術の有資格専門職者からこの装具を受け取る際に、患者、保護者、ケアチームであるあなたには、装具サービスパスならびに使用説明書と一緒に提供されています。この使用説明書を使用して、装具の機能と取り扱い方法が詳しく説明されます。次回のメンテナンス予定日は装具サービスパスに記載されています。メンテナンス当日には必ず装具サービスパスをご持参ください。



場所と日付

患者の署名

脚の左右

■ 左脚

■ 右脚

取付スライドワッシャ

1. GS _____ - _____

2. GS _____ - _____

